

ミヤマオオハナムグリ

澄川森林の昆虫標本作りを始めての採集個体で、三橋氏が捕ってきてくれました。ラベルには時間までの記録は要求されませんので記載していませんが、正午頃だったと思います。カナブンと言って持ってこられました。たしかに外形はカナブン状ですが、調べましてミヤマオオハナムグリと同定いたしました。この個体は暗銅色ですが緑色までの色違いがあるらしいです。出現は5~7月、大きさは19~23mmで、この個体は22mmです。分布はほぼ日本全土のようです。海外の事情はよく分かりません。

図鑑「札幌の昆虫」に記載されているカナブン



はアオカナブン一種のみで、参考までに左に画像を拝借しておきます。こいつは結構な大きさでして、22~27mmとのこと。

そっくりさんにムラサキツヤハナムグリというのがあります。まことに紛らわしいのです。右下に3匹ならんでいる一番左のがムラサキツヤハナムグリです。上翅の白色斑が少しおおきくて、明瞭である程度の違いなのです。素人目には区別がつかねますよね。

かれこれ16年でもう1,000回ほど澄川森林に来ていますが、過去にこの虫を見ていません。筆者一人の目では見つけれなかったと思います。参加者に協力をお願いしての成果にちがいません。これからも続々と新顔が登場してくる予感がしております。標本作りと並行してそれら新顔を紹介する楽しみが増えました。

来林する子供たちが年々増えていますのが、昆虫標本作りの動機であります。2~3年この調子で頑張れば、充実した標本が出来ると確信する次第でありました。(記 高野)

